

芳香植物を用いた緑化による駅待合室の快適性の向上

潮木知良 村越暁子 川崎たまみ 京谷隆 吉江幸子

駅コンコース等において、おもに視覚的効果により快適性を高めることを目的として屋内緑化を導入する事例が増えています。一方で、植物には香りの放出等により空気環境を改善し、ストレス緩和等の効果があることも知られており、こうした効果を利用することにより、さらに快適性を高めることができます。そこ

で、駅待合室をモデルケースとして、芳香植物を用いて緑化し、評価試験を行うことにより駅の快適性に与える効果を調べました(図)。その結果、芳香植物で緑化するとともに、その事実を積極的にPRした場合に空間印象がポジティブに変化しました。さらに、芳香植物の香りを認識した場合に疲労感が和らぐことがわかりました。



図 駅待合室の緑化試験